

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	スタッフは身体拘束を理解し、利用者に与える影響を考えているが、玄関の施錠をしている状況である。	身体拘束をしないケアの実践(鍵をかけないケアに取り組んでいきたい。)	時間を決め少しずつでも鍵を開けていく取り組みを行い、職員の見守りの配置を検討していきたい。行動制限委員会を中心に話し合う。玄関や窓の施錠する事で利用者全体を見れるが、開ける事で離ホームするおそれのある方に手をとられる様な状態が考えられる。スタッフの見守りの位置を考える必要がある。	6ヶ月
2	45	入浴時間は職員の都合(曜日や時間)で、現在は入浴を行っている。	利用者への希望を聞いて、それに添った入浴時間を行っていききたい。	入浴を楽しむことができる支援を行いたい。利用者にアンケートをとりその結果で、スタッフの勤務時間を検討する必要がある。	6ヶ月
3	26	介護計画を意識した記録書きが不十分で読みにくい。現在は、日々の生活と介護ケアが一緒になっていて読みにくい。	記録は、日々の様子だけに限らず、ケアの実践、気づいた事を記入して介護計画の見直しなどに活かしていく記録方法を勉強したい。	介護計画を意識した記録を書き、読みやすい記入の方法を検討する。記録の記入の見直しをして再度、みんなで統一をしていきたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。